資料 2

第 9 回海部会 WG の話し合いのポイント

■第 9 回海部会 WG の目的

○ 第 8 回 WG での話し合い結果をもとに、「海部会 WG 年間活動計画」について検討する
- ➢ 年間の活動内容とスケジュールについて
- ➢ 各活動内容の詳細、日程について

○ 第 7 回 WG ごみ・流木調査プレ調査の実施方針を検討する
- ➢ 目的の共有について
- ➢ プレ調査の実施方針について

■検討事項 1 : 年間活動計画（案）について（資料 2）: 説明 10 分、意見交換 30 分

（1）年間の活動内容とスケジュールについて

これまでの検討状況

○ 第 8 回 WG での話し合いにより、今年度の活動方針として、ごみ・流木調査を中心に活動を行うが、併せて海や砂の勉強会を行っていくことが必要とされた。

○ 活動内容として、ごみ・流木調査のプレ調査、矢作ダム等の土砂見学会、人工干潟観察会、三河湾水質観察会の実施が決まった。

検討のポイント

- 第 8 回 WG 後、事務局が提案者に詳細内容を聞き取り、作成した、年間の活動内容のスケジュールについて確認、意見交換を行う。

（2）各活動内容の詳細、日程ついて

検討のポイント

- 昨年度までの WG で話し合ってきた内容をもとに、各活動について、詳細内容（場所、移動手段など）や日程を話し合う。

■検討事項 2：ごみ・流木調査プレ 調査について（資料 3）：説明 10 分、意見交換 40 分

（1）目的の共有について

検討のポイント

- 目的の共有と調査自体への参加意向を確認する。

（2）プレ調査の実施方針について

検討のポイント

①どこで実施するか
- 調査場所の選定をどうするのか

②いつ調査を行うのか
- 調査日の設定とその周知の方法をどうするか

③誰が行うのか
- 調査は、管理者が単独で行うのか、市民と共同で行うのか

④どのように行うのか
- 調査票で示した調査は可能かどうか
- ごみの調査だけで回収はするのか
- （回収する場合）回収したごみの処分は誰がするのか

⑤とりまとめは誰が行うのか
- 集計は参加メンバーで行うのか
- 調査の活用方法として考えられるものは何か